

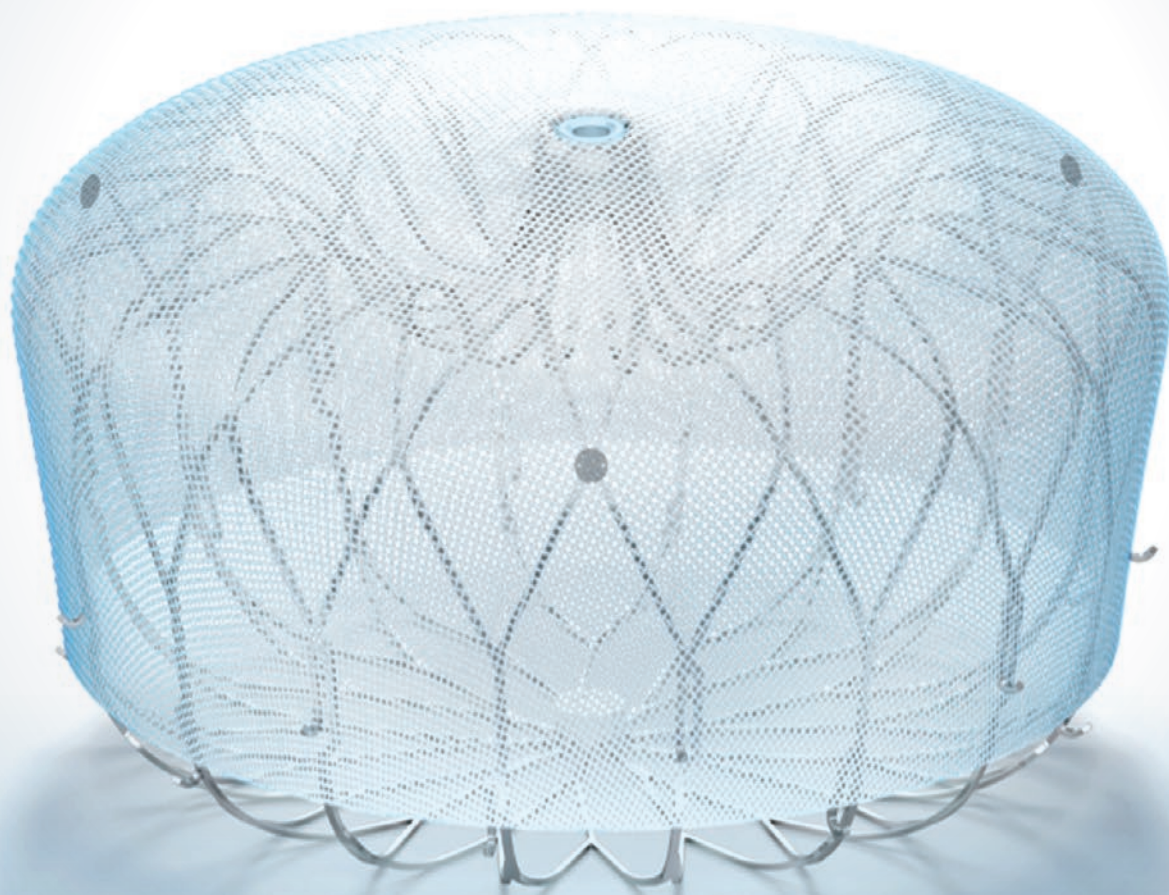
「笑顔」と「まごころ」あふれる病院

Smile & Heart

医療特集

新たな治療「左心耳閉鎖術」のご案内

健康講座 | 脳動脈瘤と頸動脈狭窄症



明けましておめでとうございます。
Smile&Heartをモットーに診療のカイゼンを続けてまいります。
今年もよろしくお願ひ申し上げます。

皆さま、明けましておめでとうございます。21世紀もすでに四半世紀を経過しようとしています。

2023年5月、コロナ禍の収束とほぼ同時に新病院がオープンしました。

広々とした空間を有し、搬送ロボットPotaroが走る新病院では、今後の医療需要の増加に備えた医療設備を整え、職員一同スクラムを組みパフォーマンスを向上させています。ダビンチ手術は2024年2月には累計1,000例を超え、昨年度の救急車搬送台数は8,932台と過去最高となりました。

2024年7月には病院ReBORNの第2弾として、アスリートに特化したTASC(トヨタアスリートサポートセンター)を新設し、多くのアスリートにご利用いただいています。さらに、健診センターも大幅にリニューアルしました。男女別の導線確保やニーズに合った医療機器を新たに導入し、オプション項目も拡充しましたので、ぜひご利用ください。今年には巳年ですが、地域の皆さまのご期待を的確に把握し、蛇行せずに真っすぐにカイゼンを続けます。ご意見やアドバイスをいただけましたら幸甚です。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

トヨタ記念病院 病院長 岩瀬 三紀

特集 左心耳閉鎖術 医療機器:ウォッチマン

新たな治療 「左心耳閉鎖術」のご案内



循環器内科 医長 古井 宏一

心房細動は不整脈の一種で、脳梗塞の原因になることがあります。心房細動になると、心臓の中に血の塊(血栓)ができやすくなり、それが血液の流れに乗って脳の血管を詰まらせてしまうことがあります。実際、脳梗塞の3分の1は心房細動が関係していると言われています。また、心房細動による脳梗塞は重症になりやすいという報告もあり、脳梗塞を防ぐために、多くの心房細動の患者さまには血液をさらさらにするお薬(抗凝固薬)を飲んでいただいています。しかし、このお薬は効果が高い一方で、出血のリスクがあるため、長く飲み続けることが難しい方もいらっしゃいます。

そこで今回、当院では新たに「左心耳閉鎖術(さしんじへいさじゅつ)」という治療を導入しました。この治療は、心房細動の患者さまの脳梗塞を予防するための新しい治療

方法です。脳梗塞の原因となる血栓は、非弁膜症性心房細動の患者さまでは、ほとんどが心臓の「左心耳」という部分でできることが分かっています。この治療では特殊な医療機器(ウォッチマン)を使って左心耳を閉じることで脳梗塞を予防し、長期間の抗凝固薬の内服を回避することで、出血の心配を減らすことが期待できます。

現在、心房細動の患者さまは国内で100万人以上いるとされ、今後さらに増えると予想されています。当院ではこれまで、投薬やカテーテルアブレーションなどの治療を行ってきましたが、左心耳閉鎖術が加わったことで、さらに幅広い治療の選択肢を提供できるようになりました。

心房細動についてお困りのことや治療に関するご質問がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

体に負担が少ない
カテーテル治療

出血リスクを
低減できる

脳卒中リスクを
減らせる

WATCHMAN

新たな治療「左心耳閉鎖術」のご案内

治療対象者とメリット

治療対象者

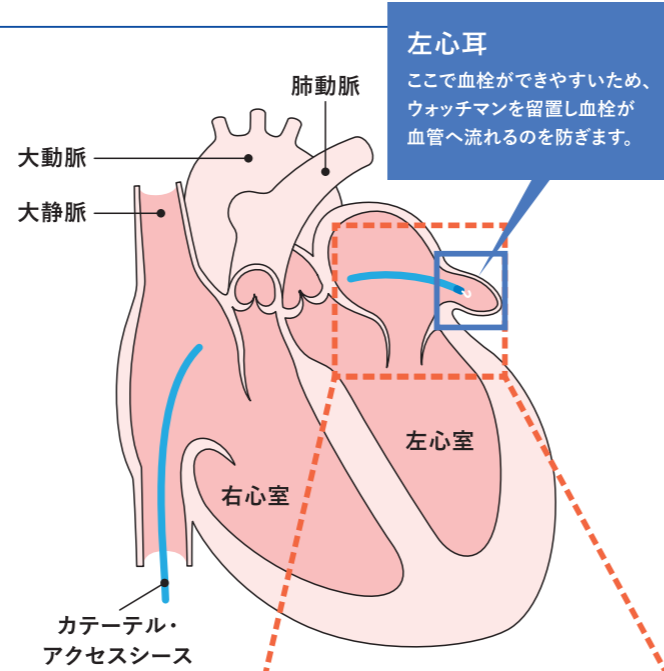
- 心房細動のために、血液サラサラ薬(抗凝固薬)の内服が必要な方
- 出血リスクのある方 ● 転倒に伴う外傷歴がある方
- DAPT(抗血小板二剤療法)が1年以上必要な方
- 大出血の病歴がある方

治療効果

- 血栓のできやすい左心耳をふさぐことで脳梗塞を予防します
- 抗凝固薬の中止につながり出血リスクの低減が期待できます

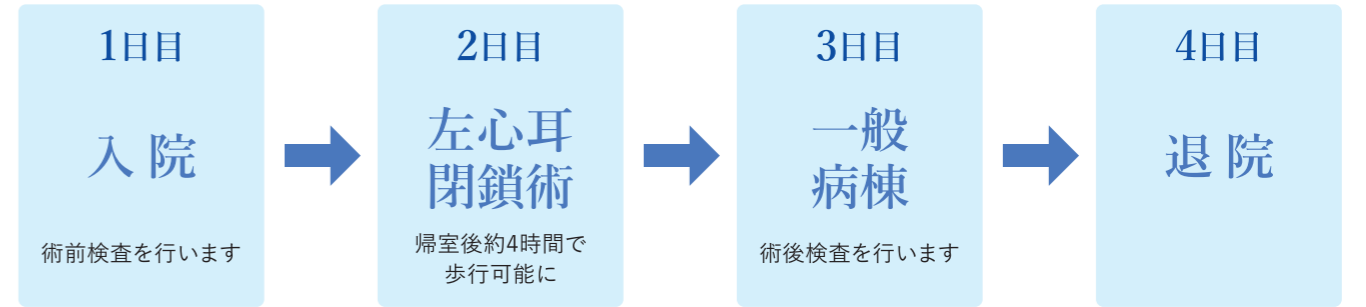
メリット

- 開胸することなく、カテーテルを用いて行うため体に優しく、3泊4日で退院が可能です
- 全身麻酔下で行うため、痛みを感じることなく受けていただけます



外来から退院までの流れ

3泊4日での入院となります。



入院期間 3泊4日の場合

限度額適用認定証区分:ウ(標準的な所得)をお持ちの方 ※2024年12月現在

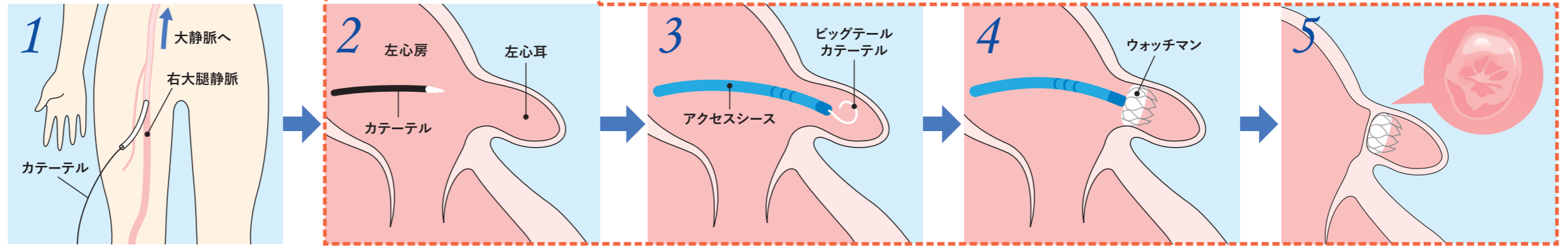
医療費3割負担:約70万円 → 限度額適用認定証利用:約11万円

※上記以外に食事代、個室希望者は部屋代が別途かかります。

左心耳閉鎖術手術のステップ



左心耳閉鎖術 医療機器:ウォッチマン



1 右足の付け根(右大腿静脈)に小さな切込みを入れて細い管(カテーテル)を挿入し、左心耳を目指します。

2 X線(レントゲン)と経食道心エコー(心臓や血管を診る検査)で確認しながら、右心房から左心房へカテーテルを進めていきます。

3 カテーテルを医療機器(ウォッチマン)を運ぶ太い管(アクセスシース)に入れ替え、ビッグテールカテーテルに沿ってアクセスシースを左心耳内に誘導します。

4 ウォッチマンを展開し、左心耳にとどめておきます。

5 時間経過とともに、ウォッチマンを覆うように左心耳が塞がれていきます。その後、術後経過を見ながら血液をさらさらにする薬(抗凝固薬)を中止することを検討します。

ハートチームからのMessage



CT検査で左心耳の造影検査を実施し、それをもとに3D画像を構築し、左心耳がどのような形・向き・大きさであるかを計測します。どの角度からも立体視できる唯一の検査です。その情報を元に検査当日は、医師がカテーテル操作しやすいよう、血管造影装置の操作を行います。チーム医療を大切に、患者さまが安心して受けられる医療を目指します。

放射線科 鈴木 美由紀



左心耳閉鎖術において、心エコー図検査は非常に重要です。術前に心臓の状態を詳しく調べ、手術の可否や適切なウォッチマンのサイズを判断します。術中では、正確な位置に設置するために欠かせない手法であり、術後にはウォッチマンが適切に設置されているか、合併症がないかを確認します。私たち心エコーチームは、安全で成功率の高い手術を受けていただけるよう、全力でサポートいたします。

臨床検査科 杉本 邦彦



左心耳閉鎖術の導入に向けて、循環器内科の医師を中心に、多職種で構成されるハートチームを結成しました。ハートチームを中心に手術器材の準備や配置、手術中の各職種の動きの確認など、当院では未経験の手術の立ち上げを進めました。他施設の手術を見学し、自施設でも安全に実施できるよう、あらゆる事態を想定した準備とトレーニングを重ねてきました。今後も、安全で質の高い医療と看護の提供に努めてまいります。

手術室 看護師 秋山 陽亮

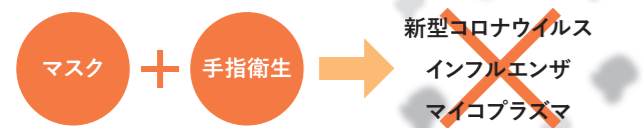




手洗い・手指消毒等の予防のお話

2020年から流行を繰り返している新型コロナウイルス感染症ですが、重症化することは以前より少なくなったものの、残念ながら「after コロナ」とはならず「with コロナ」で生活していくことになりそうです。ウイルスの弱毒化やワクチン・治療薬の開発もあり、感染することへの危機感は薄くなっていますが、日本でも高齢者を中心に累計10万人以上の方が亡くなっていることを考えれば、やはり予防は重要です。予防といっても特別なことではありません。「マスク」と「手指衛生」です。

鼻やのどの粘膜からウイルスが侵入するため、マスクで飛沫を予防し、手指からのウイルスの伝播を手指衛生で防ぎます。これらの予防策はインフルエンザや最近流行しているマイコプラズマにも有効です。高齢者には重症化や死亡リスクを下げるためのワクチン接種も推奨されています。



皆さまへのお願い

トヨタ記念病院では、院内でのマスク着用をお願いしています。院内での感染症の伝播を防ぎ、皆さまの健康を維持するためにご協力をお願い申し上げます。



健康講座

地域の方を対象に「健康講座」を開催しています。病気の解説、予防方法などを分かりやすくお伝えします。

脳動脈瘤と脳頸動脈狭窄症

脳動脈瘤と頸動脈狭窄症

脳神経外科 科部長 大枝 基樹



脳動脈瘤は、脳の血管の一部が弱くなり、膨らむ状態です。主な原因には高血圧、喫煙、加齢があります。脳動脈瘤が破裂すると「くも膜下出血」を引き起こし、突然の激しい頭痛や嘔吐を伴う非常に危険な状況になります。治療し社会復帰となった場合でも約70%の方に後遺症が残ってしまうと言われています。

次に、頸動脈狭窄症は、首の動脈が狭くなる病気で、主に動脈硬化が原因です。この病気は脳梗塞のリスクを高めます。狭窄が進行すると、脳への血流が減少したり、血管が詰まることがあります。早期発見には超音波検査やCT検査が有効で、治療には薬物療法や手術が用いられます。

これらの病気を早期に発見するためにも脳ドックの受診をお勧めします。特に、高血圧や糖尿病のリスクがある方、また心臓病の既往歴がある方は、定期的な検査が重要です。健康を守るため、ぜひ積極的に検査を受けましょう。

防ごう! 動脈硬化

保健師 市川 友里



動脈硬化は、脳梗塞や心筋梗塞などのリスクを高める病気で、症状が現れないまま進行することが多いです。予防には生活習慣の改善が重要です。

タバコは酸化ストレスを高め、動脈硬化を促進するため禁煙を目指しましょう。食事面では、LDL(悪玉)コレステロールを増やさないために野菜や魚、大豆の摂取を増やし、動物性脂肪を控えましょう。高血圧や高血糖も動脈硬化に繋がるため、減塩や腹八分の食事もお勧めします。定期的な運動も重要です。1日30分以上、週に3回以上の運動を心掛けると良いですが、運動習慣のない方は家事や買い物など日々の生活で動く機会を増やす、まずは10分の運動からチャレンジする、などして徐々に運動量を増やしていきましょう。これらの生活習慣の改善に完璧に取り組むことに難しさを感じる方も多くいます。できることから少しずつ取り組み、良い変化を定着させていきましょう。健康診断を受けてリスクを把握し、早期に医師に相談することも動脈硬化の予防に役立ちます。

地域医療連携

皆さまの健康を支える地域の医療機関についてご紹介します

高橋医院

地域の皆様の「かかりつけ医」として「生活を支える安心で良質な医療」を提供します

緑豊かな下山地区で祖父の代から約60年、3代に亘り地域の皆様の健康を守り続けています。

循環器内科専門医としての総合病院での勤務経験を活かして高血圧、狭心症・心筋梗塞、心不全や不整脈などの心臓病の診察だけでなく、糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病やその他の内科全般、小児科、泌尿器科、整形外科等、幅広い診療を行っています。また農業に従事する方が多い地域柄でもあり、ケガや虫さされ、マダニや動物の咬傷などの初期対応なども行います。

下山地区には一人暮らしのお年寄りも多く、患者さんの平均年齢は70歳を超えています。高齢化が進むこの地域で地域の皆様が安心して暮らせるよう、ご自宅への訪問診療や介護のサポートなども含め、地域の生活を支える皆様の「かかりつけ医」として「生活を支える安心で良質な医療」を提供したいと考えています。

当院のスタッフは皆、地域の事情をよく理解している下山周辺の居住者です。健康やお体に関する不安やお悩みがございましたら、お気軽にご相談ください。



院長 高橋 亮太郎

【住所】〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和58
【電話番号】0565-90-2015
【診療科目】内科、循環器内科、小児科
【診療時間】9:00～12:00、16:00～18:00
【休診日】木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



さなげクリニック

患者さまに寄り添い、身近なかかりつけ医として 予防・健康増進に貢献します

これまで急性期病院で心不全、狭心症、心筋梗塞、不整脈などの重症疾患の診療・治療に携わる中で、これらの疾患を発症し日常生活に制限を来してしまった患者さまを沢山見てきました。病気から回復し再び元の生活に戻るため、そして病気を予防するためには高血圧、糖尿病、高コレステロール血症などの生活習慣病の適切な管理や病態に応じた診療が必要です。生活習慣病は日々の習慣が原因で自覚症状が無いことが多く、いつの間にか進行し他の疾患との合併症を引き起こす危険性が高い特徴があります。そのため検診や検査で早期発見・早期治療を行い、生活習慣の見直し・改善を図ることが大切です。

当院ではかかりつけ医として、心不全、不整脈、虚血性心疾患をはじめとする心疾患や生活習慣病から感冒や花粉症などの一般内科治療、さらに予防接種や健康診断などにも力を入れています。院内で血液検査、心電図、心エコー、レントゲン、CTで体の状態を速やかに検査することが可能です。

地域の皆さまの健康増進に貢献し、身近なかかりつけ医をめざして充実した医療を提供してまいります。お悩みの症状はお気軽にご相談ください。



院長 杉浦 由規

【住所】〒470-0372 愛知県豊田市井上町4-141
【電話番号】0565-47-0600
【診療科目】内科、循環器内科
【診療時間】9:00～12:00、15:30～18:30
【休診日】火曜、土曜午後、日曜、祝日



患者支援センターからの お知らせ

かかりつけ医をお持ちですか？

トヨタ記念病院は専門的な検査や治療、入院・救急医療など、急性期医療を提供する「地域医療支援病院」です。当院での検査・治療を受けて病状が安定した患者さまには、近隣の開業医の先生をご紹介します。患者支援センターは、皆さまの「かかりつけ医」を探お手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。

トヨタ記念病院と連携している医療機関をホームページで検索できます。

医療機関 検索ページ

寒さ対策として風よけを設置しました

冬の季節に備え、本館の正面玄関に風よけを設置しました。昨年、新しくなった本館で初めて迎えた冬には、北風が吹き込み、お待ちいただいている患者さまに寒さを感じさせてしまいました。寒い時期でも来院される患者さまが少しでも快適に過ごせるよう、改善を行っています。今後も地域の皆さまに信頼される医療機関であり続けるため、スタッフ一同引き続き努力してまいります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



クリスマスの楽曲をお届けしました

11月29日、本館5F講堂にて、患者さまやご家族、地域住民の方々向けに『少し早めのクリスマスコンサート』を開催しました。トヨタ自動車合唱部にお越しいただき、クリスマスの楽曲を交え、全16曲を歌っていただきました。赤ちゃんから高齢者まで幅広い年齢層の方々に参加し、「なじみのある楽曲が聞けて良かった。」「ハーモニーがきれいだった。」といった多くの意見が寄せられ、心も体も温まる素敵なひと時となりました。次回の開催も予定しています。



60枚の写真が病院を彩りました

来院される方々の気分転換や癒しを提供することを目的に、院内フォトコンテストを開催しました。職員がそれぞれの視点で撮影した60枚の写真を、本館1Fの光庭と本館5Fのエレベーターホールに展示しました。訪れた方々にもお楽しみいただけたことと思います。多くの方から寄せられた感想や笑顔で、病院スタッフも元気をもらいました。今後も地域の皆さまと共に楽しめるイベントを企画してまいりますので、ご期待ください。

